



Newsletter No.92 2013.4.22

ronniandpopoki(at)gmail.com http://popoki.cruisejapan.com



今月、神戸大学のキャンパス内のしだれ桜は本当に素晴らしかった。 キャンパスのねこたは気持ち良さそうに木陰でお昼寝。みなさんも お昼寝ができる特別な木があるといいですね!

Popoki's Hot News!





新にゃん歓迎ポー会&ワークショップ!

ポー会は、4月になると新にゃんたちを迎える季節になります。 4月24日のポー会では、ポーポキの紹介を参加型でします。 古にゃんたちももちろんOKです。18:30にYMCAでお待ちしています!



「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのさいたろうにゃんから届いた平和:

「晴れた日に外ではしゃぐ親と子どもたちが、私に平和を感じさせてくれる」 あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか?ぜひお聞かせください。ポーポキ のメール ronniandpopoki (at) gmail.com!



New! **灘チャレンジ2013!**

今年も、阪神・淡路大震災をきっかけにできた神戸大生&灘区民がつくるお祭り、灘チャレンジに参加します!ブースとミニステージの予定です。 日時:6月2日(日) 場所:神戸市灘区都賀川公園! お待ちしています!



いつもご協力、ありがとうございます!

「ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅」 (エピック 2012)はお陰様で好評です。 ぜひ広めていただきたいです!

*神戸 YMCA でも販売していますよ!

本については、http://:popoki.cruise.japan.com/monogatari.html をご参照ください。

イギリスのイーストアングリア大学で「Thank you from Japan」イベント

まりえにゃん

今、2011 年 3 月 11 日に起こった東日本大震災から 2 年以上がたつ。友人と私はここイーストアングリア大学で、地震の起こった同じ日 2013 年 3 月 11 日に「Thank you from Japan (日本からありがとう)」と題してイベントを開催した。イベントの趣旨は、地震の際の海外からの援助などに対して感謝の気持ちを世界に届けることと、地震のことを忘れないこと。

このイベントでは、写真展示(地震による被害の様子とボランティアの様子)、無料の日本食ビュッフェ(炊き出しの様子がわかるように)、メッセージ付きビデオ(ボランティアに行った人が得た被災者の方々の声)、そしてポーポキ友情物語(イベントを通してもう一度平和とは何か考える機会が得られたらという意図から)である。イベントはうまくいき、約250人の、さまざまな国から、また老若男女がこのイベントに足を運んでくださった。このイベントでは、参加者がそれぞれの災害の経験を語ったり、意見を交換したりと、貴重な機会にめぐまれることとなった。

また、私は良き友人である Elin Langemar さんにインタビューをする機会にも恵まれた。彼女は University of East Anglia(イーストアングリア大学)の International Development(国際開発)研究 科で Water Security(水の安全保障)を学んでいる。このインタビューを通して、日本にいた自分というレンズを通してではなく、イギリスにいる自分というレンズを通して、東日本大震災のことを考える機会になればと思う。

Marie: 2011 年 3 月 11 日の東日本大震災の起こった日、何をしていたか覚えていますか?

Elin: 覚えていません。でもスウェーデンのメディアが地震の起こった直後に、日本の状況を伝えていたのを覚えています。そのニュースが頻繁にニュースで流れていたので、事態の深刻さがそこからわかりました。地震の起こった日から一週間は、毎日地震のニュースが流れていました。その後だんだんとニュースで流れなくなりました。

Marie: ニュースを見たときにどのようなことを感じましたか?

Elin: 映像見ていて、とても怖いと感じました。この日起こった災害がどのようにして起こったのか、 想像もできません。それはおそらく、私が今まで生きてきたなかで地震や津波を一度も経験したことがないからだと思います。私がこの地震のことをニュースで初めてみたとき、頭で何も考えずただニュースを見ていました。ニュースを見ている間は何も考えることができませんでした。

Marie: 地震が来る音や、津波が民家に押し寄せる音を覚えていますか? 私は 7歳のときに地震を経験していますが、地震が来る音を今でも覚えています。地震の強さや揺れの激しさ、また地震がどれだけ人を不安にさせるか、地震が終わった後の心配までもはっきりと覚えています。

Elin: いいえ、覚えていません。あまり音に注意を払っていませんでした。おそらく経験していないせいだと思います。ただ頭の中にイメージだけがあります。でもここで興味深いことは、日本人が音やにおいなどの細かいことを覚えているという点ですね。

Marie: 地震や津波はどんな色をしていると思いますか?

Elin: 黒。暗くて、他の色はないですね。

Marie: 地震のあと、日本ではたくさんの人が被災された方々をどうにかして助けたいと思い、がれきの除去や清掃をしに、たくさんの人が被災地を訪れました。スウェーデンでは日本の地震をうけて寄付をつのったり、ボランティアに行ったりした人たちがいましたか?

Elin: 私の友人にはどちらもいませんでしたが、友人の友人で日本に実際に行った人がいました。 私たちは被災された方々に対して強く共感しました。地震の後で、若い人たちが道で寄付 を集めているのをスウェーデンで見たことがあります。またその寄付金は、日本とコネクションのあるスウェーデンの医者に集められ、日本に届けられると聞きました。

Marie: 福島原子力発電所の事故はスウェーデンの原子力発電の問題に何か影響がありましたか?

Elin: はい、ありました。スウェーデンでは、反原発の集まりや行進をときどきしますが、いつも福島原子力発電所の事故のことを例に挙げます。もしもこのまま原発を利用し続けると、福島で起こった事故と同じ事故が起こってしまうと。ですが、福島で起こった事故後、なにかスウェーデン政府が何か大きな改革をしたかというとそうではありません。スウェーデンに住んでいる人は原発に反対していますが。

Marie: ではこのイーストアングリア大学で勉強している、水の安全保障という点からこの災害をどのように見ますか?

Elin: 水の安全保障では、事後援助より、予防に焦点をおいているので、言えるとすれば上下水道の施設のことでしょうか。ですが、原子力発電所でさえ、建設時にマグニチュード 9 かある一定の地震強さしか想定していなかったという話を聞いたことがありますので、上下水道の施設の強度に関しても、どこまでの強さに耐えられるのか疑問に思います。また地震に対しての強度のみならず、事後災害にも耐えうるようにしなければならないと思います

Marie: ここイーストアングリア大学で開発援助の勉強を始める前と今とでは、ものの見方が変わりましたか?

Elin: はい、見方はとても違います。このコースを初めてからさまざまな理論を学びましたが、日本の地震やこのイベントで地震の写真を見ると、いざ自然災害が起こったときに私に何ができるのか本当にわかりません。

Marie: 今回のイベントで見たものとニュースで見たもので何か違いがありましたか?

Elin: イベントで展示してあった写真とスウェーデンのニュースで見たものがすべて同じだったので、 驚きました。ニュースで見たものが本物なのだなと実感した瞬間でした。日本の人々との距離が縮まったように感じました。

Marie: 最後にあなたにとって平和とは何ですか?

Elin: 攻撃的なものがなく、傷つけることのないような世界。相手を気遣うことのできる世界。私は相手をもっと気遣うべきだと思います。

イベントとインタビューを通して、世界は日本の政府が地震に伴う問題をどのように解決するか、また日本がこの災害からどのように立ち直るかという点に注目しているということに気がついた。後日、2013年4月13日に淡路島付近で起こった地震のことについて Elin と話をした。ここイース

トアングリアにいる私の友人も、地震が発生したあとすぐに日本では大丈夫なのかと聞いてくれたことを覚えている。たくさんの人が日本のことを気にかけてくれているということが分かりうれしく思った。最後にインタビューを引き受けてくれた Elin に感謝をしたい。



ポーポキ友情物語





たくさんの人が足を運んでくださいました



写真展示の様子



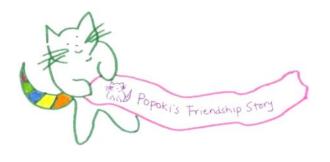
さまざまな国の人からからメッセージをいただきました



炊き出しチーム

寄付をつのるためポストカードを作成しました





ポーポキ、2013年2月の大槌町にて (その2)

たろうにゃん

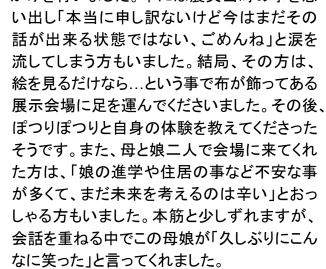
東日本大震災からはや2年がたちました。被災した方々は、今どのような状況の中で何を考えているのでしょうか?ポーポキとそのお友達は2月8日から12日まで3泊5日、岩手県大槌町に久しぶりに足を運んできました。実質活動出来たのは3日間という短い期間でしたが、さまざまな人に出会う貴重な経験が出来ました。前回のポーポキ通信では有パンニャンが旅の流れを説明してくれたので、今回は大槌町で出会った人びとに注目していきたいと思います。

今回の旅では、ポーポキ友情物語の布の展示を行いました。多くの方が訪れてくれて展示されている絵をみたり、布に絵を描いたり、会場に設置していた感想カードに感想を書いてくれました。



反応は笑ったり、考えたりそれぞれ多様でした。感想カードを読ませていただくと、震災後の支援への感謝を表すものや、支援を受けたからには復興してみせるという意気込みを書いてくれたものが多くありました。中学生くらいの子達は部活で全国優勝するぞ!という意気込みを書いてくれていました。また、ある人は「震災以来、海は怖いと思っていたが、思い出の中の海は家族・友人との楽しい思い出や、悩んだときに癒してくれるかけがえのない存在だった事を思い出した。海と自然と共存できますように」と書いてくれていました。

また、展示に来てもらえるように、展示会場周辺で声かけを行いました。中には震災当時の事を思





この活動から私が感じたのは、こちらから声をかけ参加を呼びかけて直接話をしたときには「震災の傷は癒えていないしまだまだ辛い」という気持ちを伝えてくださる事が多かったことです。そして、反対に展示会場に足を自ら運んでくれる人や感想カードを書いてくれた人はどちらかというと前向きに頑張っていきたいという気持ちを表現してくれたように思います。さらに自分から展示会場に足を運んでくれる方も、震災の傷、現状、未来への期待と不安が、複雑に入り交じっている状況で、被災した方々の心の整理はまだまだ続いて行くような気がします。

この旅の中で、震災から2年が経ち、復興への道を歩もうとする人もいるし、まだまだ傷が癒えず未来を考える事が辛い人もいるのだという実感がありました。それぞれに傷を抱えている事は間違いないのですが、これから大槌とそこに住む人々が時を重ねるにつれてどうなっていくのか、進んでいく時間の中で私たちはどう関わるべきか、考えさせられる実りのある旅でした。



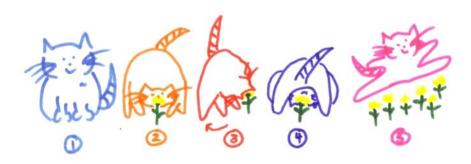


ポーポキ友情物語はアメリカで開催された学会「International Studies Association」にも行きました! ろにゃんが布を見せながら研究報告をしました。「安全であること」は、「安心できること・安全を感じること」と異なる場合があるので、気持ちに注目する必要を強調しました。研究者仲間は関心を持ってきいてくれて、被災地の状況などについても質問してくれました。(ろにゃん)

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 58

今月のテーマは花!ポガをしながら春をたのしみましょう!*お外でするのがおすすめです!



- 1. いつものように、背筋を伸ばし、自分を細く見せながらちゃんと座りましょう。
- 2. さて、テキトウなお花を探しましょう。では、前へ花の高さまで前屈しながら、顔をあげて花を眺めましょう。もちろん、においを確かめたりすることもおすすめです!
- 3. 次に、花の横に立って、花を見ながら脇腹から腰をのばしましょう。左へ。右へ。
- 4. 最後に、花をうしろにしながら、自分の足の間から花を見てみましょう!
- 5. できた?では、「できたポーズ」をどうぞ!

お疲れ様でした。少しリラックスできましたか?毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。



ご一緒にいかが?

次回のポー会 4月24日 神戸 YMCA 18:30-20:50 新にゃんポー会!

- 4.20 ポーポキと考える憲法 9 条! 金沢
- 5.18 ポーポキ at ロータリー大会(広島)&広島女学院大学
- 6.2 難チャレンジ参加
- 6.8 子どもの里でポーポキ!
- 6.29-30 ふたたび広島女学生ン大学へ

ポーポキの友だちからのご案内

-6.15-16 第9回移動労働者と連帯する全国フォーラム·神戸 2013 甲南大学 ぜひご参加ください!

Popoki in the News

ポーポキ通信のバックナンバー: http://popoki.cruisejapan.com/archives.html

- 「被災 秘めた思い描いて」「ひと人抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』 2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1 面)
- R. Alexander. "Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War." International Feminist Journal of Politics. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキとー緒につくり出す平和の根底に9条がある」NO:662012年5月12日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」 阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」 斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22 面)
- K. Wada. "Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?" International Feminist Journal of Politics Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. "The Art of Healing" (Popoki Friendship Story Project) Kansai Scene. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) "The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. Philosophy after Hiroshima. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1「『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて) 『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる!」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602 ia
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 'Heart Lines' 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- "Human Rights, Popoki and Bare Life." In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (http://www.infactispax.org/journal/)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色?ロニ・アレキサンダーを迎えて」 『PPSEAWA』(日本汎太平洋 東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際·平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ボー ポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色?』」「私のいち押し」 奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関 西外大通信)
- 「友情って…考える絵本」 朝日新聞 「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて~人間と、ねこと、そして自分と~」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング·エッジ」 第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介: 『ポー ポキ、友情って、なに色?ポーポキのピース·ブック 2」(レベッカ·ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」 KOBE YMCA NEWS 「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!!プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してく ださいました。ぜひお聞きくださいね。 http://www.kizzna.fm/ 録音番組をクリック。番組 CH の6CHを クリック。
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。 詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」 エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」 Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全30条 イラストで表現 地元ゆかり 6名がパネル制作」 2008.10.8. 10 面
- 中国新聞「核廃絶への視点」 2008. 7. 27 (核抑止論について・・・。 3時間!?!にわたる取材で 一生懸命にポーポキのことを話したのに・・・。



私にとってのホーホキ



アスターにゃん

translation:スザンカーにゃん

「平和って何色?」この一見シンプルだけど、奥が深く、大事な問い。この問いが、およそ3年前に私をポーポキに興味をもたせ、友達になりたいと強く思わせました。そして、それから年月が経った今、(その問いに満足のいく答えは未だに出せていないのですけど、)ポーポキとの輝かしい友情のおかげで、気づき、学んだことが私にはあります。



ポーポキとの日々を通じて、私は自分の感覚を正しく認識し、それらを周囲の状況を観察し、理解することに使う方法を学びました。最近、私はポーポキと言えば、すぐに五感と、その五感が私たちの知覚を発達させる上での重要性を考えます。また、ポーポキの助けがあって、私は芸術の重要性、思いや考えを表現し、シェアするときの大切な役割についても学びました。そして、そのような芸術は、より良い世界について想像するときにも使えます。これらのことを学んだことで、私は生命の尊さと価値について知ることができました。

さらに、ポーポキのおかげで、私は日本で信じられないような経験をすることができました。それは私にとって授業で習ったことと同じぐらい価値があり、大切なことです。ポーポキと一緒に行動することで、私はいくつかのみんなと共同で行う活動に参加、協力する機会がありました。そこでは異なる生活を歩んできた人々と出会うことができ、彼らは私にとってとても興味深い人々でした。これらの経験はすべて、ポーポキと一緒でなければ味わうことができなかったでしょう。総じて、日本で過ごした実生活での経験、驚くような経験と出会いはポーポキと始まって、ポーポキと終わりました。

ポーポキは、私に永遠の素晴らしい思い出を与えてくれました。 そして、私は永遠にポーポキと友達でいようと思います©





さらにご協力ください!





ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色?ポーポキのピース・ブック1』(エピック、2007年)、『ポーポキ、友情って、なに色?ポーポキのピース・ブック2』(エピック、2009年)を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語東日本大震災で生ま

れた私たちの平和の旅』という本を 2012 年 1 月に発行します。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳(『ピース・ブック1』は既に10ヵ国語に翻訳されている)、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさりたい方はぜひご参加ください。(ポー会の開催については、ポーポキ通信の「ごー緒にどうぞ」の蘭をご参照されたい。)

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いいたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック (TEL: 078-241-7561·FAX: 078-241-1918) へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト popokipeace(at)gmail.com



http://popoki.cruisejapan.com

郵便振替口座番号 00920-4-280350 ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350 口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!